

田原市の概要

〔人口〕 64,382 人

〔面積〕 191.12 km²



田原市は愛知県の南端に位置し、三方を海に囲まれた渥美半島のほぼ全域が市域となっています。

農業、工業、観光、水産業そして渥美半島という生活圏を対象とする商業など個性豊かな産業バランスの取れた地域です。



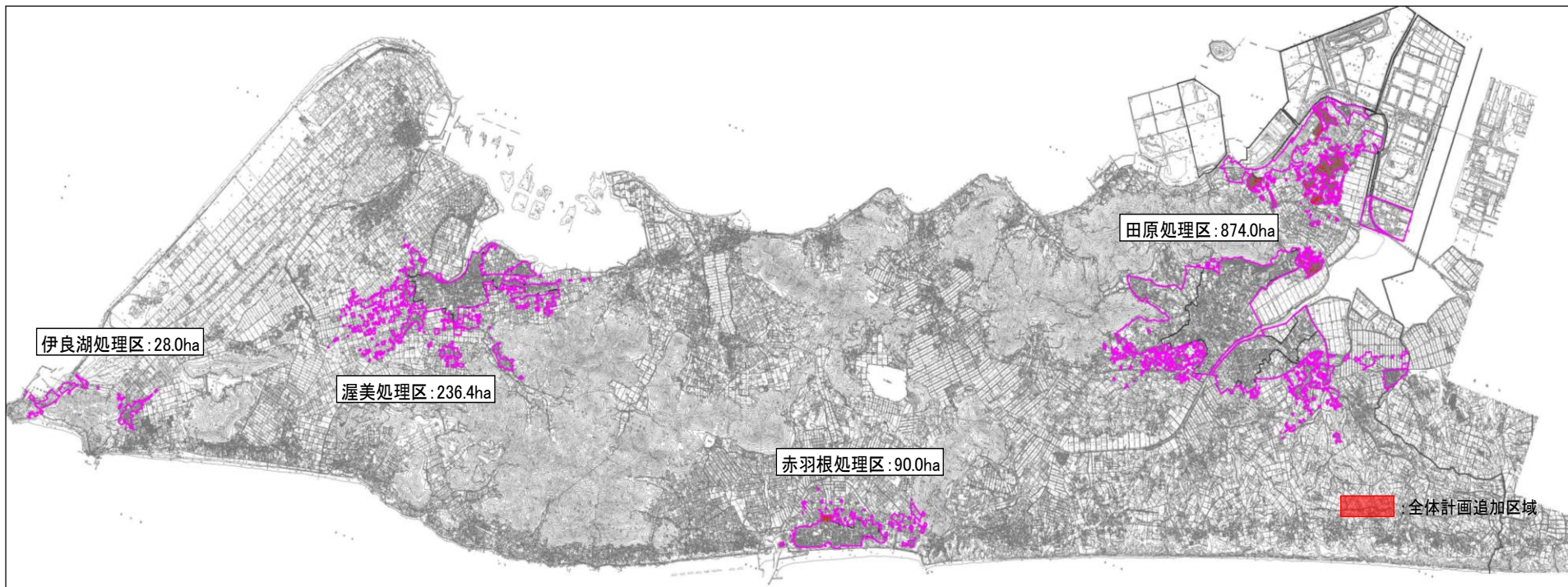
田原市の概要

農業面は、豊川用水全面通水以来、飛躍的な発展を遂げ、農業産出額は、全国市町村第1位となっています。電照菊などの花き、キャベツなどの野菜、肉用牛・豚などを中心に収益性の高い農業が営まれています。

工業面は東三河工業整備特別地域の指定を契機に造成が進められた三河港臨海工業地帯田原地区に集積されており、製造品出荷の大部分を輸送機械製造業が占めています。

観光面は、伊良湖岬をはじめとして、蔵王山、大石海岸（太平洋ロングビーチ）、サンテパーク田原など、半島という地理的特性と海・山の自然、歴史資源など観光資源が数多く分布しており、市内観光施設利用者は年間295万人（平成26年）に達しています。

田原市公共下水道事業計画図



田原市の下水道事業の概要

【事業種別】 単独公共下水道

【事業着手】 昭和61年度

【供用開始】 平成 3年4月1日 田原処理区
平成 15年4月1日 赤羽根処理区
平成 15年4月1日 渥美処理区

【整備状況】 汚水処理施設人口普及率 86.2%
公共下水道 84.9%
農業集落排水 他 71.0%
雨水対策整備率 90.3%

【処理施設】 公共下水道 3処理場
農業集落排水 他 24処理場

田原市の下水道運営状況

【水処理施設】	公共下水道 農業集落排水	包括的民間委託 長期継続契約
【汚泥処理】	公共下水道 農業集落排水	産廃処理一部肥料化 農地還元
【管路施設】	直接管理	
【使用料徴収】	直接運営	



田原市の下水道事業における課題等

①水処理施設への対応

- ・水処理施設の運転・管理方法の検討

②汚泥処理への対応

- ・汚水処理施設から発生する汚泥処理施設の検討

③地震・津波対策への対応

- ・汚水処理場、雨水排水ポンプ場の長寿命化
- ・防災対策課が策定する津波被害想定により、電気計装、機械器具類の浸水対策の検討

下水道事業の今後の事業方針・計画

①水処理施設への対応

- ・ 長期的且つコスト削減の見込める手法の検討（例えば：PFI方式等）

②汚泥処理への対応

- ・ 下水道汚泥の有効利用施設の検討（例えば：PFI等による燃料化等）

③地震・津波対策への対応

- ・ 電気計装、機械器具類の浸水対策の検討

例…防水壁設置、防水扉設置、自家発電機移設、燃料タンク移設等